清酒・焼酎 Tidbit「名前」と「襲名」 rev.3.4

<同名の事例>

●「男山」の事例（一部）

男山

陸奥 男山 [Mutsu Otokoyama]

千葉 男山

開當 男山

会津 男山

男山本店

羽陽 男山

●「きくすいしゅぞう」

菊水 KIKUSUI

土佐 菊水

喜久水

喜久水

●「あさひしゅぞう」

朝日酒造

朝日酒造株式会社

酔うため 売るための酒ではなく 味わう酒を求めて

旭酒造株式會社

朝日 奄美黒糖焼酎

旭日

旭日 キョクシツ

「キョクジツ」

（滋賀/藤居本家のブランド）

同じ社名・似た社名（概ね、北から南へ）

※注記のない名称は清酒

- O:「男山」を含む社名の蔵元は、北海道・宮城・山形・福島 2 社
- T:「田中」を含む社名の蔵元は、北海道・新潟・滋賀・兵庫・岡山・茨城・宮城・長野
- K:「小林酒造」は北海道・栃木に、「小林酒造場」は千葉に、「小林酒造本店」は福岡にある（埼玉の小林酒造は酒造を行っていない）
- T:「高橋酒造店」は秋田、山形、岩手にある 「高橋酒造」は新潟と熊本（焼酎）にある
- T:「高木酒造」は山形、高知にある
- G:「後藤酒造店」が山形、「後藤酒造場」が三重、福岡に、「後藤酒造」が福岡にある（愛媛の後藤酒造は 2021 年に酒造から撤退）
- K:「きくすいしゅぞう」：菊水酒造/新潟・喜久水酒造/長野・菊水酒造/高知・喜久水酒造/秋田がある 喜久酔（きくよい）は静岡の青島酒造の銘柄
- T:福島県には豊国酒造（資）（「会津豊国」）＝会津坂下と、豊國酒造（資）（「東豊國」）＝古殿町がある 国・國の字が違う
- S:「佐藤酒造」 福島県に佐藤酒造（株）（「三春駒」）と（有）佐藤酒造店（「藤乃井」）、埼玉に（有）佐藤酒造店、滋賀に佐藤酒造（株）、大分に佐藤酒造（株）、鹿児島に焼酎の佐藤酒造（有）がある
- E:福島県の榮川（えいせん）酒造と、栄川（さかえがわ）酒造は、榮・栄の字が違う
- U:宇都宮酒造は、栃木県と愛媛県にある
- S:「せんきん」：泉金酒造（岩手）と（株）せんきん（「仙禽」、栃木）がある
- K:「近藤酒造」は新潟、群馬、愛媛にある
- N:「中川酒造」は新潟と鳥取にある
- A:「青木酒造」は新潟（銘柄：鶴齢）と茨城（銘柄：御慶事）にある
- M:「丸山酒造場」は新潟（銘柄：雪中梅）、「丸山酒造」は埼玉（銘柄：織星）にある
- Y:「吉乃川」は新潟（銘柄：吉乃川）、「吉の川酒造店」は福島（銘柄：会津吉の川）にある
- A:「あさひしゅぞう」：朝日酒造/新潟・旭酒造/山口・旭日酒造/島根・朝日酒造/福井のほか、焼酎で旭酒造/大分、朝日酒造/鹿児島（喜界島）がある（番外編：アサヒビール－旧社名は朝日麦酒株式会社－もある） 滋賀/藤居本家のブランド「旭日」は「きょくじつ」と読む
- I:「伊東酒造」は長野に、「伊藤酒造」は三重と福井に、「伊藤酒造場」は長崎にある
- M:長野には「松葉屋本店」（小布施）と、松葉屋（須坂）がある
- K:「久保田酒造」は、神奈川、福井、広島にある（広島の久保田酒造は 2021 年に廃業したようだ）
- S:「清水酒造」は埼玉と神奈川にある （若清水酒造（福島）・清水清三郎商店（三重）もある）
- W:「渡辺・渡邊・渡邉」：栃木に渡邊佐平商店と渡邉酒造、岐阜に渡辺酒造店と渡辺（渡邊）酒造醸、愛知に渡辺酒造、岡山に渡辺酒造本店、宮崎に渡邊酒造場（焼酎）がある（番外編：栃木に渡邊葡萄園（ワイン）もある）

- S:「須藤本家」は茨木と千葉にある
- N:「中村酒造」は東京、石川、山口にある　鹿児島に「中村酒造場」（焼酎）がある
- T:「豊島屋」（としまや）　：東京の豊島屋酒造（カネジュウの豊島屋、「金婚」）、長野の豊島屋（マルゴの豊島屋、「神渡」）がある
- M:「宮崎本店」は三重、「宮崎本家」と「宮崎酒造店」は千葉にある　（長崎に焼酎の「宮崎商店」もあったー現在は建物が文化財指定）
- S:「三和酒造」は清酒で静岡（銘柄：臥龍梅）、焼酎で鹿児島（銘柄：三和鶴）にある　焼酎の「三和酒類」（銘柄：いいちこ）は大分
- M:「松井酒造」は京都と鳥取（ウイスキー）に、「松井酒造店」は栃木にある
- I:「石川酒造」は東京と三重に、「石川酒造場」は沖縄（泡盛）にある
- M:「町田」：町田酒造店は群馬県前橋市と群馬県玉村町にある　鹿児島・奄美に町田酒造（黒糖焼酎）がある
- S:「澤田酒造」は愛知と奈良にある
- H:「林酒造」は岐阜、広島に、「林酒造場」は新潟、富山のほか、焼酎で熊本にある（福岡の林酒造場は林龍平酒造場に改称）
- O:「太田・大田」：滋賀/太田酒造（灘にも工場）、鳥取/太田酒造場、三重/大田酒造
- K:「神楽酒造」は三重と宮崎（焼酎）にある
- H:「東酒造」は清酒で石川、焼酎で鹿児島にある　両社とも「ひがし」
- Y:「吉田」：「吉田酒造」は福井、島根、滋賀、大阪に、「吉田酒造店」は石川にある
- F:「藤居」：滋賀に藤居本家、大分に藤居酒造と藤居本家（焼酎）
- O:「岡本本家」は滋賀と奈良にある（奈良県の岡本本家は、2021 年に廃業したようだ）
- K:「喜多酒造」は滋賀と奈良にある（1970 年代までは石川にもあったー現在は重要文化財指定）　福岡に喜多屋がある
- Y:「山本本家」は京都・伏見と奈良にある
- S:「松竹梅酒造」（銘柄：灘一）は兵庫、京都・兵庫の「宝酒造」の清酒の銘柄は「松竹梅」
- H:「平和酒造」は和歌山と京都にある
- O:「老松酒造」は大分と兵庫にある、兵庫には伊丹老松酒造がある
- O:「大石酒造」は京都と鹿児島（焼酎）にある、熊本には大石酒造場（焼酎）がある
- Y:「八鹿酒造」は大分（やつしか）と兵庫（ようか）にある
- K:「金光（かねみつ）酒造」は広島と山口にある
- M:「三宅酒造」は兵庫と岡山にある　三宅本店は広島、三宅彦右衛門酒造は福井にある（「三宅島酒造」（焼酎）は東京都三宅島にある）
- Y:「山根」：鳥取/山根酒造、埼玉/やまね酒造（濁酒）、広島/醉心山根本店　（山口県の山根酒造は、現在は営業していないようだ）
- G:福岡には（資）後藤酒造場（「藤娘」）＝八女市と、後藤酒造（資）（「豊の寿」）＝豊前市がある

- N:佐賀には中島酒造（資）（「不老長寿」）＝杵島郡江北町と、中島酒造場（「君恩」）＝鹿嶋市がある（中島酒造（資）は、現在は営業していないようだ）
- F:「福田酒造」は長崎（清酒と焼酎、あと株）と熊本（焼酎、まえ株）にある
- Y:鹿児島には吉永酒造（有）（「利八」）＝指宿市と吉永酒造（株）（「こしき亀五郎」）＝薩摩川内市下甑島がある　両社とも焼酎
- A:「奄美大島」が社名につく３社：（株）奄美大島開運酒造＝奄美大島、奄美大島酒造（株）＝奄美大島、（株）奄美大島にしかわ酒造＝徳之島
- （番外編：ワイン）（株）アルプスは長野に、アルプスワイン（株）は山梨にある

同じ・似たブランド名

- O:「男山」を含むブランドは、「男山」を含む社名の蔵元＝北海道・宮城・山形・福島２社の５社以外に、青森/八戸酒造（「男山」と「裏男山」）・岩手/菱屋酒造店・新潟/渡辺酒造店・新潟/阿部酒造・愛知/盛田・兵庫/名城酒造・兵庫/小西酒造・山口/永山酒造・山口/永山本家酒造など、多数ある　兵庫/剣菱酒造では、非売品だが「剣菱・男山」が継続的に製造されている。
- O:「鬼殺し」「鬼ごろし」「鬼ころし」は、北海道/国稀酒造・宮城/内ヶ崎酒造店・新潟/北雪酒造・長野/黒澤酒造・山梨/福徳長（オエノン）・石川/東酒造・愛知/清州桜・兵庫/日本盛・兵庫/キング醸造・京都/北川本家・福岡/鷹正宗（清酒と焼酎）・宮崎/井上酒造（焼酎）など多数ある。多くの場合メインブランドでなく、紙パックなどの経済酒ブランドであることが多い。
- K&S:「此君」ブランドは、山形（このきみ）と鳥取（しくん）にある
- H:「白龍」ブランドは、新潟（白龍酒造）と福井（吉田酒造）にある
- K:「黒龍」ブランドは、福井（黒龍酒造）と栃木（大平酒造、委託生産）にある
- M:「ますかがみ」：新潟の「萬寿鏡」（株式会社マスカガミ）と、鳥取の「真寿鏡」（廃業した米子の益尾酒造本店の銘柄を、千代むすび酒造が引き継ぎ）
- H:「白鹿」ブランドは、兵庫（灘）と茨城にある（追記：2022 年 6 月、茨城の白鹿（石岡酒造）は倒産）
- H&T:「宝山」ブランドは、清酒で新潟（たからやま）と焼酎で鹿児島（ほうざん）がある
- K:「麒麟山」ブランドと「麒麟」ブランドが、新潟の東蒲原郡阿賀町内にある　（ブラジルに清酒「東麒麟」がある）
- H:「蓬莱泉」ブランドは愛知に、「蓬莱」ブランドは岐阜にある　（ほかに「蓬莱鶴」/広島、「残草蓬莱・昇龍蓬莱」/神奈川などがある）
- G:「月山」ブランドは、山形と島根にある　山形にはワインの月山もある
- E:「英君」ブランドは静岡、「英勲」ブランドは京都（伏見）にある
- W:「若駒」ブランドは、栃木と富山にある
- K:「桂月」ブランドは、高知と福井にある
- A&K:「旭日」ブランドは、滋賀の藤居本家（キョクジツ）と島根の旭日酒造（✚旭日（じゅうじ あさひ））がある
- C:「ちょうりょう」ブランドは、新潟の「長陵」と奈良の「長龍」がある

- （番外編：ビール）★マークは、サッポロ、ハイネケン、イネディット（スペインのビール）

★マークビール３社のロゴと王冠

漢字表記について

- 福島県の榮川（えいせん）酒造と栄川（さかえがわ）酒造は「榮」・「栄」の字が違う
- 福島県の豊国酒造（株）と豊國酒造（資）は「国」・「國」の字が違う
- 埼玉の株式会社藤﨑摠兵衛商店：藤﨑「摠」兵衛
- 愛知の株式会社萬乗醸造：銘柄は九平「次」・社長は九平「治」
- 滋賀の冨田酒造有限会社：銘柄は七本「鎗」
- 京都の株式会社増田徳兵衛商店：増田「徳」兵「衛」
- 京都の招徳酒造株式会社：招「徳」酒造
- 京都の齊藤酒造株式会社：「齊」藤酒造

襲名している蔵元は 26 社（北から南へ）

※ 当社の調査の範囲でのリスト

※ 「x 代目」の表記は、「酒屋蔵元として」の場合だけでなく、「（酒屋以前からのの）家系として」の場合もあり、基準はさまざまであるようだ

北海道	小林酒造株式会社	北の錦	夕張郡栗山町	襲名→社長が４代目
青森	八戸酒造株式会社	陸奥八仙	八戸市	襲名→社長が８代目
青森	株式会社盛田庄兵衛	駒泉	上北郡七戸町	代々盛田庄兵衛を襲名したが、11 代目の現社長は初代・盛田平治兵衛
秋田	新政酒造株式会社	No.6	秋田市	襲名→会長が７代目
秋田	天寿酒造株式会社	天寿	由利本荘市	襲名→社長が７代目（2022 年 11 月）
福島	鶴乃江酒造株式会社	鶴乃江	会津若松市	襲名→社長が７代目
福島	末廣酒造株式会社	末廣・鬼羅	会津若松市	襲名→社長が７代目
福島	笹の川酒造株式会社	笹の川	郡山市	襲名→社長が５代目
新潟	株式会社丸山酒造場	雪中梅	上越市	襲名→社長が７代目

東京	石川酒造株式会社	多満自慢	福生市	襲名→社長が 18 代目
東京	田村酒造場	嘉泉	福生市	襲名→社長が 16 代目
神奈川	熊澤酒造株式会社	曙光	茅ヶ崎市	襲名→社長が 13 代目
山梨	井出醸造店	甲斐の開運	南都留郡富士河口湖町	襲名→社長が 21 代目
岐阜	林酒造株式会社	美濃天狗	可児市	襲名→社長が 12 代目
愛知	株式会社萬乗醸造	醸し人九平次	名古屋市	襲名→社長が 15 代目
福井	三宅彦右衛門酒造有限会社	早瀬浦	三方郡美浜町	襲名→社長が 11 代目
奈良	油長酒造株式会社	風の森	御所市	襲名→社長が 13 代目
滋賀	有限会社平井商店	浅茅生	大津市	襲名→社長が 17 代目
京都	松井酒造株式会社	神蔵	京都市	襲名→社長が 15 代目
京都	株式会社山本本家	神聖	京都市（伏見区）	襲名→社長が 11 代目
京都	株式会社増田徳兵衛商店	月の桂	京都市（伏見区）	襲名→社長が 14 代目
兵庫	小西酒造株式会社	白雪	伊丹市	襲名→社長が 15 代目
兵庫	櫻正宗株式会社	櫻正宗	神戸市（灘五郷）	襲名→社長が 11 代目
兵庫	菊正宗酒造株式会社	菊正宗	神戸市（灘五郷）	襲名→社長が 12 代目
兵庫	大関株式会社	大関	西宮市（灘五郷）	襲名していた→先々社長が 11 代目
鹿児島	小牧醸造株式会社	小牧（焼酎）	薩摩郡さつま町	襲名→専務が 3 代目

出典：きた産業の蔵元リスト

清酒　https://kitasangyo.com/pdf/archive/sake-info/sakelist2021.pdf　焼酎　https://kitasangyo.com/pdf/archive/sake-info/shochulist2021.pdf

本資料は 2023 年 1 月時点の当社の調査によるもので、不備や誤りがあるかもしれません。お気付きの点があればお知らせください　→　https://kitasangyo.com/contact/

（以上 22.01.14 rev.1.01.18 rev.2.03.17 rev.2.1 04.12 rev.2.2 04.27 rev.3 06.13 rev.3.1 0714 rev.3.2 0920 rev.3.3 1128-1201-12 -15 rev.3.4 230130/2neo）

＜表紙ページの解説＝同名銘柄に関する歴史的小考＞

●なぜ、「男山」がたくさんあるのか

江戸時代、人気の酒銘柄ができると、他の蔵が自分の酒に同じ銘をつけて江戸で売ることが普通だった。例えば、常滑（知多半島）では、ほとんどの酒造家が著名な下り酒（伊丹・池田・灘などから江戸に運ばれた酒）の銘柄で出荷していたそうだ。
伊丹発祥の「男山」も、同銘を名乗る蔵元が多数あった。正統的な分家のような場合もあった。明治 17 年（1884 年）、商標登録制度ができたとき、「男山」を登録しようとしたが、許可にならなかった。「正宗」も同じ。

●「男山」と「正宗」は登録できなかったが、「剣菱」は登録できた。

「男山」や「正宗」は上等酒の一般名称である、という当時の判断で、登録許可にならなかった。男山は各地で残り（あるいは、その後の新参入者もあり）、正宗は「櫻正宗」、「菊正宗」など、他の字句と合わせて登録された。

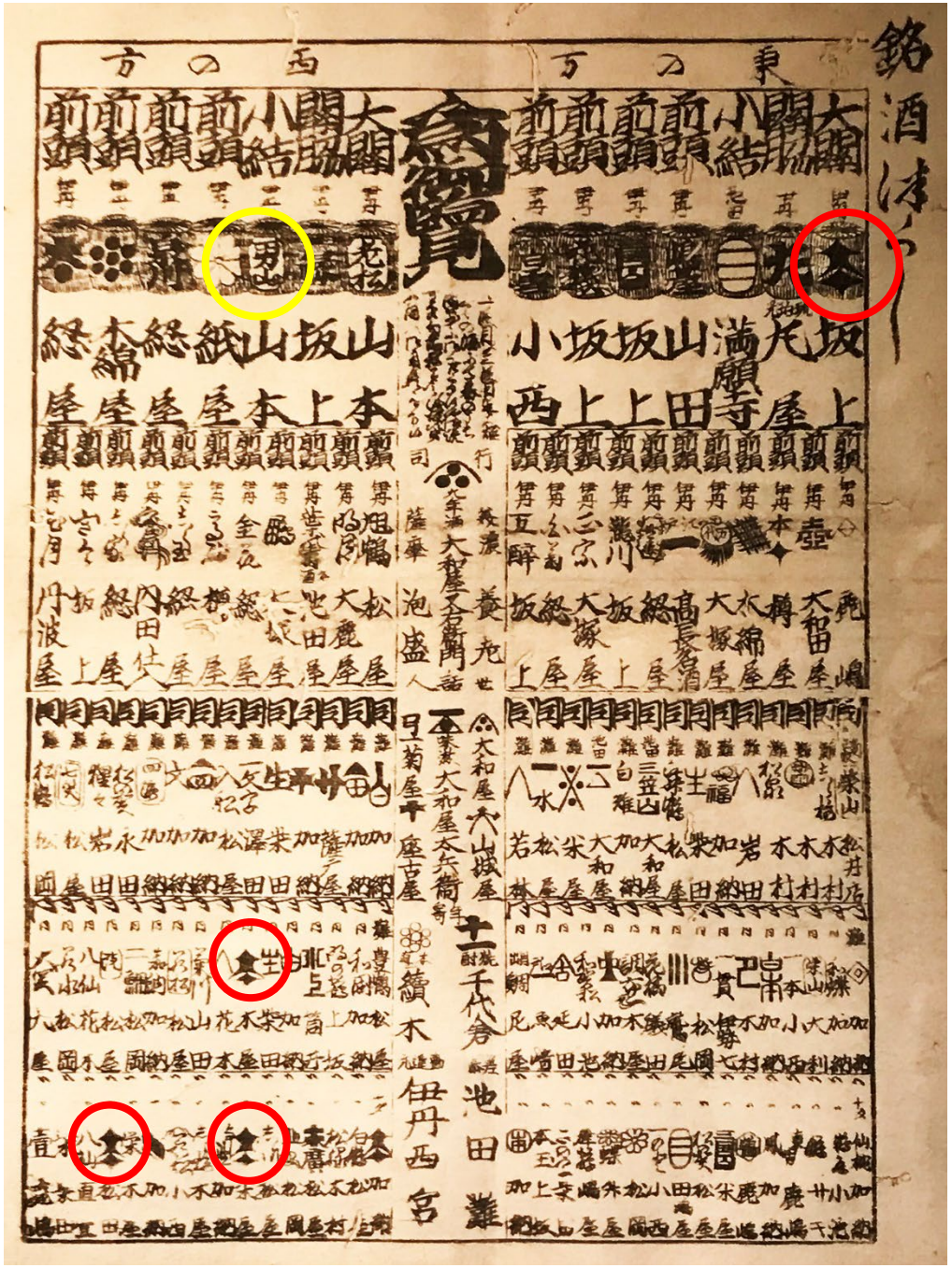
一方「剣菱」は、文字でなく図案 であったことを大きな理由として、商標登録できた。（「酒史研究」37 号（2022 年 3 月）伊藤和生「近世江戸の偽ブランド酒流通とその後の商標保護」）坂上の剣菱を引き継いだ稲野利三郎が、明治 17 年（1884 年）12 月に、商標登録 721 号として取得。

●「剣菱」もたくさんあった

右の江戸時代の清酒の東西番付表「銘酒つくし」を見ると、「剣菱」 はもっとも有名だった伊丹の「坂上」（右上、東の大関）以外に 3 つある（赤マル）。3 つはすべて灘。この「銘酒つくし」は伊丹・池田・灘のみであるが、他の地域にも、多くの剣菱があったと思われる。（1505 年創業の稲寺屋の剣菱が坂上（津国屋）に引き継がれたのが 1743 年。さらに明治以降に何人かに引継がれ、昭和初期に現在の白樫家が継承：剣菱酒造のホームページから）なお、上段左端の「総（かせ）屋」の「大星」も当時の人気銘柄であるが、そのマークは一見、剣菱に似ているようにも思われる。
「男山」はこの銘酒つくしでは伊丹の「山本」のみ（西の小結、黄色マル）だが、全国に多数あった。男山として一番有名だった、この伊丹の山本（木綿屋）が明治初期に廃業したことが、男山が商標登録できなかった理由の一つでもあるかもしれない。

●同名の社名について

「同一銘柄」に比べて「同一社名」は、許容度が高い。地域が異なれば、今でも同じ社名の登録が認められる場合が多い。地方銘柄も今では全国で流通するので、同一社名の会社は、ロゴ書体やサブブランドなどで、区別の工夫をされている。

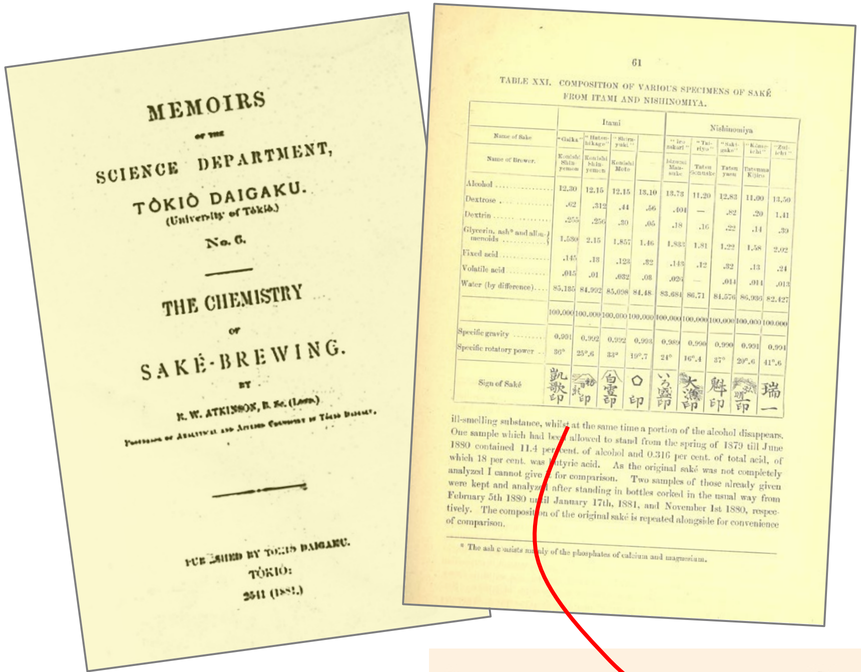


「銘酒つくし」 江戸時代後期のもの　登場する銘柄は伊丹・池田・灘のみ
（白鹿記念酒造博物館の展示、喜多が撮影）

kitasangyo.com

前ページ考察からの連想　<文字銘柄・図案銘柄に関する歴史的小考>（22.07.14 追加）

REFERENCE
参考資料・きた産業



MEMOIRS
OF THE
SCIENCE DEPARTMENT,
TŌKIŌ DAIGAKU.
(University of Tōkiō.)
No. 6.

THE CHEMISTRY
OF
SAKÉ-BREWING.
BY
R. W. ATKINSON, B. Sc. (Lond.)
Professor of Analytical and Applied Chemistry in Tōkiō Daigaku.

PUBLISHED BY TŌKIŌ DAIGAKU.
TŌKIŌ:
2541 (1881.)

61

TABLE XXI. COMPOSITION OF VARIOUS SPECIMENS OF SAKÉ FROM ITAMI AND NISHINOMIYA.

	Itami				Nishinomiya				
Name of Saké	"Gaika"	"Hatsu-hikage"	"Shira-yuki"		"Iro-zakari"	"Tai-riyo"	"Saki-gake"	"Kome-ichi"	"Zui-ichi"
Name of Brewer.	Konishi Shin-yemon	Konishi Shin-yemon	Konishi Mote		Idzumi Man-suke	Tatsu Gonuske	Tatsu yasu	Tatsuma Kijiro	
Alcohol	12.30	12.15	12.15	13.10	13.73	11.20	12.83	11.00	13.50
Dextrose	.62	.312	.44	.56	.404	—	.82	.20	1.41
Dextrin	.255	.256	.30	.05	.18	.16	.22	.14	.39
Glycerin, ash* and albumenoids	1.580	2.15	1.857	1.46	1.833	1.81	1.22	1.58	2.02
Fixed acid	.145	.18	.123	.32	.143	.12	.32	.13	.24
Volatile acid	.015	.01	.032	.08	.026	—	.014	.014	.013
Water (by difference)	85.185	84.992	85.098	84.48	83.684	86.71	84.576	86.936	82.427
	100.000	100.000	100.000	100.000	100.000	100.000	100.000	100.000	100.000
Specific gravity	0.991	0.992	0.992	0.993	0.989	0.990	0.990	0.991	0.994
Specific rotatory power	36°	25°.6	33°	19°.7	24°	16°.4	37°	20°.6	41°.6
Sign of Saké	凱歌印	初日影印	白雪印	○印	いろ盛印	大漁印	魁印	米一印	瑞一

ill-smelling substance, whilst at the same time a portion of the alcohol disappears. One sample which had been allowed to stand from the spring of 1879 till June 1880 contained 11.4 per cent. of alcohol and 0.316 per cent. of total acid, of which 18 per cent. was butyric acid. As the original saké was not completely analyzed I cannot give it for comparison. Two samples of those already given were kept and analyzed after standing in bottles corked in the usual way from February 5th 1880 until January 17th, 1881, and November 1st 1880, respectively. The composition of the original saké is repeated alongside for convenience of comparison.

* The ash consists mainly of the phosphates of calcium and magnesium.

アトキンソン著「THE CHEMISTRY of SAKÉ-BREWING」（1880 年）

1880 年（明治 13 年）に東京大学から出版された、アトキンソンの著作「ザ ケミストリー　オブ　サケ・ブリューイング」では、分析に使った伊丹で 4 つ、西宮の 5 つの清酒ブランドの「Sign of SAKÉ　＝　酒銘」を掲載している。
しかし、本文には名前がないもの（下の表で no name とあるところは空欄）もあった。昔は、デザインのみ（文字無しの図案）の酒銘というのもあったのだろう。

伊丹　　　　西宮

	Itami				Nishinomiya				
Name of sake	Gaika	Hatsu-hikage	Shira-yuki	no name	Irozakari	Tai-riyo	Saki-gake	Kome-ichi	Zui-ichi
Name of brewer	Konishi Shin-yemon	Konishi Shin-yemon	Konishi Mote	no name	Idzumi Man-suke	Tatsu Gonuske	Tatsu yasu	Tatsuma Kijiro	no name

★小西新右衛門　　小西もて？　　泉万助？　　辰馬権助？　　辰やす？　　★辰馬喜十郎

さらに前ページから続く　＜銘柄に関する歴史的小考＋明治・大正期の蔵元ランキング＞（22.07.14 追加）

REFERENCE
参考資料・きた産業

アトキンソンが調査した９銘柄の中で、「白雪」は今も良く知られる銘柄だが、他の８銘柄は当時の主要銘柄だったのか？調査を行ったとおぼしき 1878-79 年のランキングではないが、手持ちの「明治から大正の清酒蔵元ランキング資料（大手銘柄リスト）」で、アトキンソンの著作に出てくる銘柄、醸造家の名前を探してみた。いくつかが合致（ ★ ）したが、多くは名前がなかった（わからなかった）。

明治・大正時代の日本酒蔵元の出荷量ランキング　220714/2neo

	1892年/明治25年	石数	1895年/明治28年	石数	1911年/明治44年	石数	1925年/大正14年	石数
	明治25年		明治28年		明治44年		大正14年	
1 位	「白鹿」辰馬たき	23,510	「白鹿」辰馬たき	27,204	「白鹿」辰馬吉左衛門	25,802	「菊正宗」（御影、魚崎を合わせて）	37,200余
2 位	「牡丹正宗」若井源左衛門	14,694	「牡丹正宗」若井源左衛門	18,977	「日本盛」西宮酒造（株）	24,272	「白鹿」辰馬本家酒造（株）	33,600余
3 位	「戎面」日本摂酒（株）（辰馬喜 ★	13,783	「東自慢」辰馬半右衛門	15,941	「櫻正宗」山邑太左衛門	19,797	「櫻正宗」山邑太左衛門	31,000余
4 位	「東自慢」辰馬半右衛門	12,658	「澤之鶴」石崎喜兵衛（大阪から出造り）	13,641	「月桂冠」大倉恒吉	16,903	「月桂冠」（伏見と御影郷を合わせて）	NA
5 位	「志ら泉」鷲尾久太郎	10,108	「戎面」日本摂酒（株）★（辰馬喜十郎）	13,562	「菊正宗」（名）本嘉納商店	16,514	「日本盛」「いろ盛」西宮酒造（株） ★	30,000以上
6 位	「澤之鶴」石崎喜兵衛	9,054	「日本魂」江井島酒造（株）（大阪から	12,588	「澤之鶴」石崎（資）	16,389	「白鶴」嘉納（名）	24,900余
7 位	「東褒紋正宗」辰馬與平	7,899	「沢亀」宅徳平（堺から出造り）	10,100	「牡丹正宗」若井源左衛門	15,155	「澤之鶴」石崎（株）	20,700余
8 位	★「鰹正宗」辰馬喜十郎	6,599	「山星」鈴木忠右衛門（滋賀から出造り）	10,082	「東自慢」辰馬半右衛門	15,011	「東自慢」本辰馬酒造（株）	14,340
9 位	「都賀意鶴」野田三郎	5,986	「志ら泉」鷲尾久太郎	9,031	「忠勇」若林（名）	14,739	「富久娘」花木三二郎（西郷、御影郷あ	19,300余
10 位	「企業」西宮企業会社（のちに日本	5,790	「東褒紋正宗」辰馬與平	7,382	「戎面」日本摂酒（株）★（辰馬喜	14,320	「忠勇」若林（名）	NA
11 位	「大関」長部文治郎	5,712	★「鰹正宗」辰馬喜十郎	6,989	「白鶴」嘉納（名）	11,449	「戎面」「喜鳳紋正宗」日本摂酒（株）★辰	NA
12 位	「冨（富）久娘」花木甚右衛門	5,509	「都賀意鶴」野田三郎	6,687	「富久娘」花木甚右衛門	11,255		
13 位			「菊正宗」嘉納治郎右衛門	6,499				
14 位			「冨（富）久娘」花木甚右衛門	6,088			（順位不明）「大関」長部文治郎	11,929
15 位	「白鷹」辰馬悦蔵	4,177	「泉正宗」泉仙介	5,550			（順位不明）★「白雪」小西新右衛門（魚	8,400余
	出所：1		出所：2		出所：1		出所：3	

出所1：「酒類流通システムのダイナミズム」二宮 麻里 、有斐閣、2016年4月
出所2：白鹿記念酒造博物館「明治廿八年度全国酒造家造石高見立鑑」（複写ポスター）とその付属資料
出所3：神戸大学経済経営研究所 新聞記事文庫 醗酵工業(03-098)「大阪毎日新聞 1926.5.14 (大正14年)」の記事をベースに、大正12年のランキング情報からの類推で作成